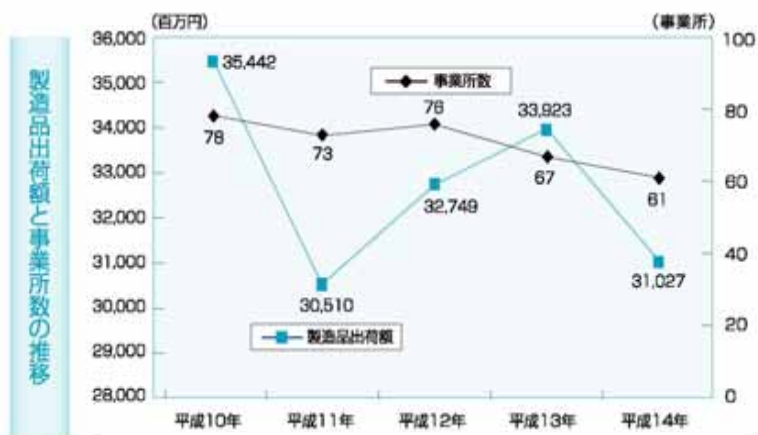


(2. 福生市の現況)

②製造業

市内の製造品出荷額は、1999（平成11）年を底にして2000（平成12）年、2001（平成13）年と伸びを見せましたが、再び2002（平成14）年で下落しています。また、製造業の事業所数は、概ね漸減傾向にあります。



③農業

現在、市内の農産物は主に野菜、いも類、花きの3つの作物種で構成されており、穀物類の生産はほとんど見られない状況です。



(2. 福生市の現況)

(4) 市内の新エネルギーへの取り組み状況

市内に導入されている新エネルギーで最もなじみの深いものは、住宅の屋根に乗せられた太陽熱温水器です。屋根の上の温水器は、既に日常の風景に溶け込んでから久しいものですが立派な新エネルギーなのです。

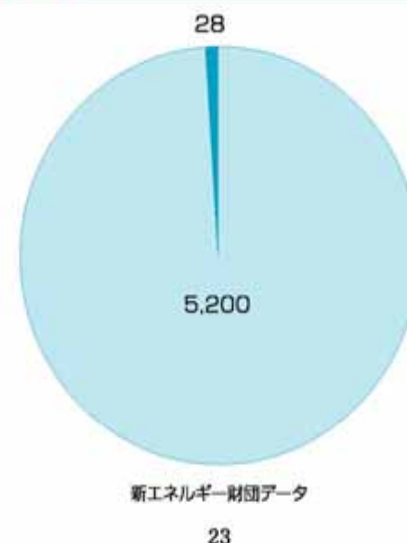
この他にも近年では、太陽光発電システムや太陽熱高度利用システム（通称、ソーラーシステム：太陽熱集熱器とお湯を介して熱を貯める部分が別々になっている）、さらにハイブリッドカーなどのクリーンエネルギー自動車なども、市内で見かけるようになってきました。

①太陽光発電システムの導入状況（系統連系型）

一般世帯に太陽光発電システムを導入する場合、新エネルギー財団（NEF）の「住宅用太陽光発電システム導入基盤整備事業」を利用して、東京電力の電線と系統連系するタイプのシステムを導入するケースが多い状況です。

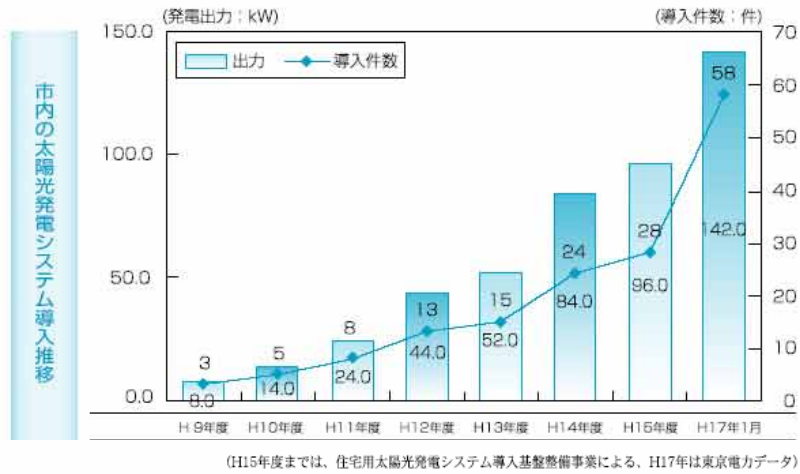
この事業の補助金（平成6～8年度のモニター事業を含む）の2003（平成15）年度までの交付データをもとに、現在の都内一般家庭の太陽光発電システム導入状況を見ると、5,228世帯（平成9年度以降、4,915件）です。このうち福生市は、28世帯（平成6～8年度のモニター事業の利用件数は不明）が占めています。

都内の「住宅用太陽光発電システム導入基盤整備事業」利用に占める福生市の利用件数（H15年度）



(2. 福生市の現況)

さらに、東京電力によれば、2005年（平成17年）1月現在、福生市には58件の太陽光発電システムが設置されており、出力は142kWとなっています。本市においても、太陽光発電の設置が急速に伸びているようです。



一方、市内の公共分野における太陽光発電システムの本格的な利用に関しては、まだ少なく街路灯などを中心とした導入や、防災倉庫などに小型のものが設置されているにとどまる状況です。



太陽光発電と風力のハイブリッドの例